

事例紹介

ダム放水路点検坑用 超低周波音対応RASK防音扉

天ヶ瀬ダム新設放水路の点検坑用防音扉として RASK を使った防音扉が設計で指定され、製作・設置施工した事例の紹介になります。

【お困りごと】

超低周波領域の遮音ができる防音扉を一般材で作る場合、かなり分厚くなり、人の手で動かせる程度の重さではなくなり、施工・製作も困難

【RASK で可能な事】

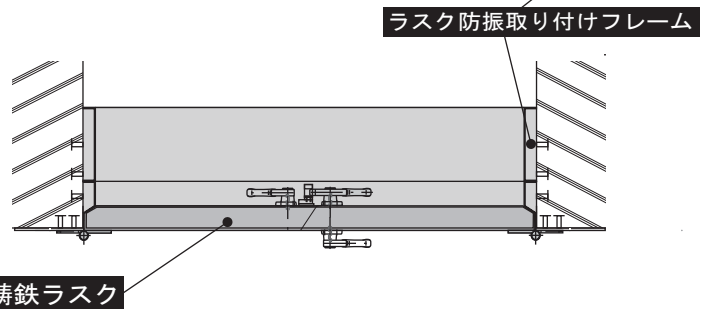
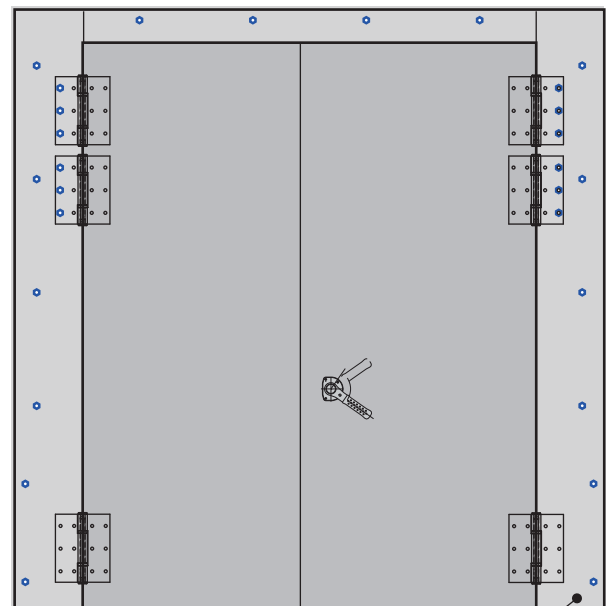
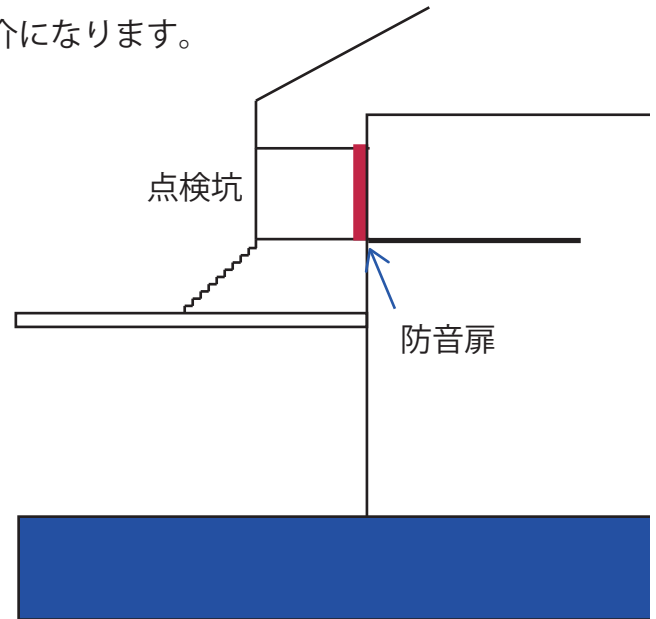
RASK は内部の構造で素材が持つ減衰性能以上の振動を減衰することが可能です。

この特徴を生かして、素材性能・重量則だけの減衰ではない、構造を使った減衰ができるので、RASK を使った防音壁・防音扉は、一般的な防音壁・防音扉よりも体積が少なく、同じ防音性能を出すことができます。

【施工方法等】

多孔質鋳鉄ラスクを鋼板に封入し、制振・防音性能を高めた防音取り付けフレームフレームを現場の開口部コンクリートにに合わせて設計、現場で、コンクリートに防音フレームを接着固定後、溶接しフレームを組み立て、防振フレームに固定する形で防音扉を施工。

金属扉の内側の空間に RASK を隙間なく敷き詰め充填 RASK の充填量を調整する事で、遮音する周波数の下限値が設計でき、今回の設定 6Hz を低減するラスクの充填量で内部を隙間なく敷き詰め、硬質ウレタン樹脂で内部の隙間を密封し封入します。



お問い合わせ先

SUISAKU

有限会社スイサク

大阪府堺市美原区小寺21-1

TEL:072-363-3056 email : info@suisaku.co.jp